



古代の文化に関し、図版を利用して文化史作品の時期・特徴を問う設問が出題された。  
作品名の暗記では対応できず、図版から文化の時期・特徴を判断する力が問われている。

## 共通テスト

## 第3問 問5

問5 最後に二人は下線部㉔のような問いを立て、遣唐使が派遣されなくなった後の外交と文化の展開に関する新たなメモを作り、メモの内容と同時期のものとみられる図を貼り付けた。二人のメモと図について述べた文として最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 18

サクラさんのメモ・図

日本と交流のあった唐などの国々が相次いで滅亡するなか、大陸文化を踏まえつつも日本風に工夫された貴族文化が発達した。

螺鈿紫檀五絃琵琶  
の図版

※都合により省略

タケシさんのメモ・図

遣唐使の廃絶後も僧が日本と中国との間を盛んに往来するなか、阿弥陀仏の信仰が隆盛し、極楽浄土に往生することが願われた。

阿弥陀聖衆来迎図  
の図版

※都合により省略

- ① 二人とも、メモと図とが同時期である。  
② 二人とも、メモと図とが同時期ではない。  
③ サクラさんのみ、メモと図とが同時期である。  
④ タケシさんのみ、メモと図とが同時期である。

## 河合塾

第3回 全統共通テスト模試 歴史総合、日本史探究  
第2問 問1

問1 下線部㉔に関連して、次のa～dについて正倉院宝庫に伝来した宝物の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 10

a

正倉院鳥毛立女  
屏風の図版

※都合により省略

b

中宮寺天寿国繡帳  
の図版

※都合により省略

c

螺鈿紫檀五絃琵琶  
の図版

※都合により省略

d

法隆寺玉虫厨子  
の図版

※都合により省略

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

共通テスト第3問問5は、図版を利用して文化の時期・特徴を問う設問であった。第3回共通テスト模試第2問問1は、正倉院宝庫に伝来した宝物を図版を使って問う問題であり、国際性が豊かな文化であるという天平文化の特徴を問う設問であった。ともに螺鈿紫檀五絃琵琶という作品名は出さずに、図版から文化の時期・特徴を問う点で「同傾向」の設問といえる。